



山崎梨花花(12)



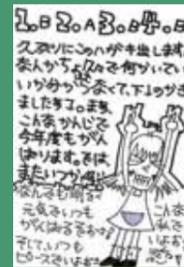
零(12)



姫神(12)



平山史乃(10)



Peas(ピース)(?)



ジコクシヨウジョA(11)



かまだ あいり ちゃん  
(第一保育所・5歳)

大きくなったらお花屋さんになりたいです。きれいな花束をたくさん作って、いろんな人に買ってもらいたいな。

## 山田よいとこ好きな町 (12)

不動尊奥の院は悠久の時を重ね、今なおその静かなたたずまいを残す。あの岩崖に奉納されてある数多い剣は、戦地に居る兵士たちの武運を祈りささげし名残か。当時は今のようなモータリゼーションの時代でなく、遠くからでも歩いての参拝だった。お不動さんに寄せる思いが募り、こんなフィクションの物語を書いてみた。

ある若い仲よしカップルが、そろってお不動さん参りをした。だが、彼氏は間もなく招集され、戦地へと出征していった。残された彼女は彼の武運長久を祈ろうと、再びお不動さん詣でに出掛ける。もちろん歩いてだ。寺前の道から鉄道の踏切を越えると、坂の石側の土手に「賽の神様」があった。辺りから小石を拾いお供えし、彼氏と二人そろって拝んだ思い出の神である。二人は何を祈ったのだろう。今は彼女一人。うら若い乙女は、彼と一緒にたどった道を思い出を胸に秘めて、歌を唄いながら行く。

坂を下り関谷の里に入っていくと泉沢という集落だ。ここんと湧き出る泉があり、そのことから「泉沢」の地名となったのだろうか。やがて乙女は唄いだす。

思い出お不動さん

(一) 乙女の胸に惚びよる 関谷の里のカッコ鳥  
(カッコーカッコー)

君の声かと立ち寄れば 消えて冷たく岩陰に  
泉ほろほろ湧くばかり

6月7月頃になると、関谷の里にもカッコウが来て家近くの電線に止まり、五月雨の日でもカッコーカッコーとよく鳴いていたものだし、その鳴き声にほだされて季節を心地よく感じ取ったものだったが、悲しいことに最近全然姿も鳴き声すら聞こえなくなった。自然界が何か変だ。

乙女は初夏の心地よい田園風景の道を、関口神社目指し唄い続けていく。

(二) 昔の夢のなつかしく たずね来たりしお不動さん

山よ小川よまた森よ 姿むかしのまなれど  
なぜに彼の君影もなし

彼女はなお頑張って奥の院まで行き、千体仏様にも彼の無事を深くお願いして、元気に道を引き返す。

(三) 過ぎにし夢と想いつつ 山路下ればサヤサヤと

千体仏の慈悲の風 胸にやさしくなつかしく  
明日の希望をささやくよ

(つづく)

ペンネーム・山田北州 (山田・87歳)



蛇石葉月(10)



野田梨加(11)



佐々木聖和(?)



神崎(12)



おでんくん(12)



川野美穂(12)



スイーツキング(?)



Satoshi☆(16)



stitch!(13)



宇多田スカル笑(12)

## 共同作業に皆さんのご協力を

花の季節と共に雑草も伸びてきました。魚市場前の公園は漁協女性部の共同作業の草取りが春と秋に実施されます。事務局から一人一人の部員にプリントも配布されます。人数が多いと短時間で終るのに、少人数では時間もかかります。「私一人くらい出なくても」という安易な気持ちにならず、仕事をやりくりして協力するようお願いいたします。

佐藤豊子 (境田町・68歳)

## すつとぎ作りに初挑戦

以前、応募はがきに「すつとぎの作り方教えてください。」と書いたら、さっそく広報に載せてくださって、ありがとうございます。食感は買ったすつとぎのようにはできませんでしたが、味は同じでした。上手に作れるようにこれからも頑張ります。

襲田忠子 (北上市・41歳)

## 新しくなった広報ますます楽しみ

毎月1回のやまだ広報を楽しみにしています。4月から新しくなり、みんなのスペースも1枚1枚ハッキリとしていて心が和みます。私にとって月に1回の楽しみなのです。  
佐藤啓子 (船越・30歳)

## 野に出て見つけた心和む春

春に会いたいと思い、早々に朝食を済ませ野に出掛け。春に会いたいと思い、早々に朝食を済ませ野に出掛けた。堤には、ヨモギは若葉を出し、ネコヤナギがふくらみ、また、逆らうことなくさらさらと流れゆく川。山からはウグイスの声、春を見つけてほっとしたひととき。遠い日に聞いた話。ウグイスは、毎年同じ場所で鳴くんだけだよ。思い出して翌朝同じ時間に立ち止まった。やっぱ山から「ホーホケキョ」と鳴く声。何十年のウグイスの謎が解けた。自然には寸分の狂いのない春に感動の朝だった。

菊地サカエ (織笠・73歳)

## やまだ文芸広場

- 老いし身はなりゆき生きる心がけ  
ペンネーム・山田北州 (山田・87歳)
- はえば立て立てば歩めと思いやり  
孫は晴れての新年生  
大川ヒメ子 (大沢・63歳)
- 田んぼ道  
共同作業懐かしき  
青空の下スコップ担ぎて  
大町テイ子 (大沢・?歳)
- パチパチと  
野焼きの火花飛び跳ねて  
暖冬の空におい広がる  
菊地孝進 (船越・86歳)
- 高齢化  
死ぬまで税金しぼりと  
佐藤兼男 (荒川・81歳)

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。  
◆あて先 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。